

第5項 環境教育啓発事業

1 環境教育啓発事業

(1) エコライフチェック

エコライフチェックとは、区民や事業所が環境に配慮した行動(エコライフ)に取り組む日を決めて実践し、普段の日の行動と比較(チェック)することで、エコライフの効果(二酸化炭素排出量の削減)を確認する啓発事業です。

令和元年度は、区民 40,601 人および 19 事業所により 2.56t の二酸化炭素排出量にあたる削減に取り組みました。

このほか、区立学校敷地にある樹木が吸収するCO₂量とエコライフチェックの結果を連携させ、分かりやすく表示した樹木用プレート希望する学校に配付しました。



エコライフチェックレポート

(2) 環境作文コンクール

小・中学生の環境問題への意識・関心を高めることを目的として、昭和 49 年度から環境作文コンクールを実施しています。

令和元年度は、「暑がりの地球を助けます」、「もったいないを行動に!」、「見つけた!ねりまのちいさな生きもの」の3つのテーマに、987 作品(小学生部門 234 作品、中学生部門 753 作品)の応募がありました。入賞作品は、作品集としてまとめ、区立図書館、環境課窓口、区ホームページ等で公開しています。

(3) こどもエコクラブの活動支援

(公財)日本環境協会が主催しているこどもエコクラブ(3歳から18歳を対象とする環境活動クラブ)の地方事務局として、子どもの環境保全活動や環境学習を支援しています。令和元年度は5クラブ 332 名が登録・活動しました。

(4) ねりまエコ・アドバイザーの活動支援

ねりまエコ・アドバイザーとは、区が行う環境教育啓発事業や地域で行われる環境保全活動への助言・協力等を行うため、区が委嘱した区民(ボランティア)です。平成 21 年に、ねりまエコ・アドバイザー相互の情報交換、連携等を図るため、「ねりまエコ・アドバイザー協議会」が設立されました。

区では、ねりまエコ・アドバイザー協議会と連携し、環境教育の一環として、小学校・学童クラブ等への講師派遣を行っています。

令和2年3月31日現在、41名のねりまエコ・アドバイザーが在籍しています。



環境学習の様子(学童クラブ)

(5) 地域活動を担う人材の育成

省エネや創エネ、省資源などエコライフに関わる知識や技術を学び、自ら主体的に地域活動を行う人材を育成するため、つながるカレッジねりま「エ

コ・アドバイザーコース」を開設します。令和元年度は2年度の開講に向け、受講生の募集を行いました。

(6) 環境月間行事

毎年、6月5日の「世界環境デー」に合わせ環境省が定める環境月間(6月)の周知を図るとともに、区役所および区立施設で関連事業を行っています。

令和元年度は、練馬区地球温暖化対策地域協議会(ねり☆エコ)主催の「スタート!エコライフ2019」に出展しました。

また、図書館12館、リサイクルセンター4か所で関連図書の展示、体験イベント等の関連事業を行いました。



環境月間周知ポスター

(7) 電気自動車、燃料電池自動車の活用

地球温暖化対策に取り組む一環として、電気自動車および燃料電池自動車の導入を進めています。

区内を24時間365日巡回する安全・安心パトロールカー7台に電気自動車を導入しています。現在、電気自動車11台および燃料電池自動車2台を稼働しています。

これらの車両は、現場調査などの日常業務をはじめ、イベント時は車両の電力を活用した外部給電のデモンストレーション等で活躍しています。

令和元年度は23のイベントおよび避難拠点訓練等に参加しました。



練馬水素ステーションと燃料電池自動車



安全・安心パトロールカー(電気自動車)

(8) ねりまエコスタイルフェア

ねりまエコスタイルフェアは、省エネ・省資源につながる展示・体験などを通じて、広く区民に温室効果ガスの排出抑制や地球温暖化防止対策を啓発する目的で開催しています。

令和元年度は、練馬区と練馬区地球温暖化対策地域協議会(ねり☆エコ)との共催により、練馬まつりの同時開催事業として「地球に人に優しく暮らす」というテーマのもと、10月20日(日)にとしまえんで開催しました。

当日は、ねり☆エコの会員団体を中心に25団体が出展し、家庭での節電の取組紹介や省エネ・省資源につながる展示・発表、



ねりまエコスタイルフェアの様子

トラックステージでの紙芝居や省エネ演劇、エコカー展示、会場内を巡る「ねり☆エコクイズラリー」など、暮らしの中でできるエコの啓発に取り組みました。

練馬まつり・健康フェスティバル・練馬産業見本市の来場者とあわせて約 35,300 人が来場されました。

(9) 節電の取組

令和元年度は、家庭での「無理のない賢い節電」を呼びかけるためのポスターを区内の公設掲示板等に掲示しました。

また、区立施設でも、利用者などの健康管理に配慮しながら節電に取り組みました。



冬期の節電ポスター

(10) ねりま打ち水大作戦

打ち水の効果や楽しさを広く周知・啓発することにより、区民一人ひとりがヒートアイランド対策に積極的に取り組む契機となることを目的としています。令和元年度は、7月23日から8月23日を「ねりま打ち水強化月間」と定め、各家庭での取り組みに加え、区立施設や町会・自治会など27団体が打ち水を実施しました。



商店街での打ち水イベント

(11) 練馬区民環境行動連絡会の活動支援

平成16年8月に策定された「練馬区民環境行動方針」に基づき、提案されたプロジェクトを実現するため、事業実施グループ間の連絡・調整等を図るための組織として「練馬区民環境行動連絡会」（以下「連絡会」といいます。）が平成17年4月に発足しました。区は連絡会と共催で、区民環境行動講演会の開催や広報紙の編集・発行など、連絡会の活動を支援しています。令和元年度は、区民環境行動講演会「自然観察の楽しみ方」を開催し、連絡会の広報紙「もっと！青い空」を2回発行しました。

(12) 練馬区地球温暖化対策地域協議会（ねり☆エコ）

区内の日常生活に起因する温室効果ガスの排出抑制に必要な取組を協議し、企画・実施するため、平成22年5月に設立されました。

平成23年度に区民公募により、「ねり☆エコ」という愛称になりました。

練馬区をはじめ、区民団体、事業者団体、教育関係者、学識経験者、行政関係機関など29会員で構成されています。

令和元年度には「ねりまエコスタイルフェア」のほか、国が定める各種月間に合わせて、環境月間講演会「自分でできるCO₂の削減～私たちの生活と地球温暖化の関係」や環境月間行事「スタート！エコライフ2019」、地球温暖化防止月間講演会「地球温暖化のしくみと海の役割～私たちができること～」を開催しました。

また新規事業として、環境野外講座「地球と自然の大切さを学ぼう」の開催や、地球温暖化や省エネに関する知識をクイズ形式で学べる「ねり☆エコeラーニング」の開設など、新たな対象に向けた事業を行いました。

その他、事業者向け講習会の開催、小学3年生から中学2年生を対象に地球環境に関する絵を募集する「こどもエコ・コンクール」の実施、地球温暖化対策に寄与する民間イベントの後援、地域イベントへの協力などを通じて、節電・省エネ・省資源を働きかけ、温室効果ガスの排出抑制などを啓発しています。